

令和5年度2月定例記者会見要旨

開催日時 令和5年2月13日（月）午前11時30分 大会議室

（市長）皆さんおはようございます。今日は大変お忙しい中、皆さんにはご参集を賜りましてありがとうございます。コロナ及び物価高騰に対する緊急支援フェーズということで、今年度第6弾となります緊急経済対策を用意いたしました。1月31日に医療特別警報が切り替わり、2月10日には医療アラートも解除になっております。そして、2月6日には感染警戒レベルが3に引き下げられておまして、徐々にポストコロナへと時代が変化していくことを予測しているところでありますが、市民や事業者の皆さんにおかれましては、感染防止対策を引き続き対応すべきこと、物価高騰に対する対策も必要と判断をいたしまして、今回国の経済対策に関わる補正予算の可決に伴い2件の事業を計上いたします。

一つは、学校教育活動継続支援事業ということで、国庫補助事業になりますが、引き続き学校現場の感染症対策等を実施するものです。公共施設においても原油等の価格高騰対策の補正が必要になってまいりましたので計上したものであります。先ほどご説明した予算案も含め、3月議会定例会が2月20日にスタートし、3月にかけて開催されます。3月の主な行事予定は、議会本会議の予定も含めてお示ししております。議会が終了しますと小中学校の卒業式があります。また3月は一部事務組合や広域連合等の議会もたくさん入ってくる予定になっていきます。保育園の卒園式もありますので、この予定表を見ていただきまして、取材等をよろしくお願い申し上げます。教育委員会関係は様々な施設において企画を立てておりますので、どうぞ積極的に取材をお願いしたいと思います。

記者との質疑応答

○マスク着用について

（記者）来月13日から個人の判断になることが政府から発表されたが、卒業式や卒園式などの式典、また職員や市民に対する対応はどのようにするか。

（市長）国では3月13日から個人それぞれの判断で着用するという内容で発表されております。それに対応いたしまして、県からの情報も勘案し、諏訪市新型コロナウイルス感染症対策本部員会議を開催いたしまして、調整してからの発表となるかと思っております。

（副市長）国の本部会議において、3月13日以降は室内外を問わずマスク着用は個人の判断になる方向だということは、我々も報道を通じて承知しておりますが、まだ正式な通知として理事者の手元に届いてきておりません。私ども市役所の庁内・庁外含めて窓口職場で直接市民と近くで接する職員も多いわけですので、そういったところにおける職員のマスクの取扱い等についてもこれから慎重に考えなくてはいけないと思っています。ハイリスク者を守らなければいけないという観点はもちろんこれからもありますでしょうし、その一方で、子供たちの発育や発達に関する影響についても様々なご意見があるところでございますので、少し時間をかけて庁内で検討したいと思っていますところが現状でございます。

（記者）対策本部員会議はいつ開くのか。

（企画部長）内容を精査したり県の状況について情報収集等を行いまして、諏訪市として対策を考えていきたいと思っていますので、まだ日程は決まっておりませんがまたご連絡させていただきます。

○大雪の影響について

（記者）被害はあったのか。

（建設部長）都市公園であります西山公園で、市道上に松の倒木があったと聞いております。

被害等はなくすでに撤去されております。

(経済部長) 林道の関係では特に被害はありません。ビニールハウスの倒壊なども今のところ情報は入っておりません。

(記者) 水路に雪を入れないでという広報があったが、その辺の被害は。

(企画部長) 市民の方から、雪を排水溝に捨てることで詰まりの恐れがあるので注意して欲しいと連絡がありました。啓発のために、防災無線で周知させていただきました。

○国道20号諏訪バイパスについて

(記者) 今後事業化へ向けた動きになってくると思うが、地元の皆さんへのご説明等アプローチについての考えは。

(市長) 3月2日に四賀地区20号バイパス対策委員会総会、3月9日に上諏訪角間沢バイパス連絡協議会総会が控えています。すでに関係の皆さんには状況を説明しておりますが、今まで長きにわたり取り組んできてくださった多くの皆さんの期待を受けて、今度は国がこれを事業決定するかどうかというところでありまして、これについては国の社会資本整備審議会の道路分科会の地方小委員会などで決まっていくこととなります。私たちとしても期待を持って注視しているところでありまして、すでに今年に入ってから関東地方整備局や国交省、財務省へも、この事業に対して国や県の皆さんとしっかり取り組んでいく心構えがあることをお伝えしてまいりました。現在は国や県の手続きを注目しているところでありまして。

(記者) 総会、協議会には市長も出席するか。

(建設部長) 今、日程調整を進めておりますが、昨日今日とすわっチャオでオープンハウスが開催されておりまして、国、県、下諏訪町と協力して多くの皆さんにバイパスを知っていただきたいということで引き続き進めていきたいと思っております。

(市長) できる限りそうした総会にはお顔出ししたいという希望を持っております。

(記者) 地元で不安に思っている方々への対応についての考えは。

(市長) 県の都市計画決定に至るまでに、都市計画審議会のみならず環境に関する技術委員会でこの国道の施工に際し、環境影響評価を慎重に審議してきていただいております。特にこの地域においては、水や温泉、そして断層、地質地殻に関するご心配が大きき取り上げられてまいりました。そのことを踏まえて、下諏訪町長も私としても、皆さんにしっかりと事業や環境影響評価の調査結果について講評をいただいて、オープンハウスでも共有するとともに、施工する段階においてはそれをどのような技術的な対応で皆さんの心配をクリアしながら事業を遂行するかということをごきちんとして説明していただきたいということ、県知事を通して施工業者としての国に対して申し入れをしましたところ、環境大臣、国土交通大臣からそのように取り組むようにという意見が戻ってきております。そうした報告を受けながら、都市計画審議会において採決をした結果、今回決定したルートが都市計画決定をされたと理解しております。

(建設部長) 環境影響評価法の関係ですが、1月30日の都市計画決定とともに、修正した評価書の縦覧を行っております。こちらは国道バイパス推進室の前にありますので、また見ていただきたいと思っております。この後、事後調査という手続きに入ります。事後調査では、工事着手前、工事中、完成後の調査の手法を今後どのようにするかということ、技術評価委員会等にお示しをするとのこと、今その状況を待っている状況でございます。いずれにいたしましても、国の方からは、事業実施段階でさらに詳しい調査に入っていくと伺っておりますので、現在は事業の状況を注視している段階でございます。

○上諏訪駅前未来ビジョンについて

(記者) 素案について感想や付け加えることは。

(市長) 未来ビジョン策定委員会は、諏訪市全域を包含いたしまして、この超少子高齢社会に対応するためにコンパクトシティを作っていこうという立地適正化計画を含め、その都市機能誘導区域であります駅周辺を中心に、我々が今課題といたしております東洋バルヴ諏訪工場跡地の諏訪湖イベントひろば、そして文化センター等を含む、これからのまちづくりに関する基本的な考え方や目標、あるいはそのタイムテーブルというようなものを、有識者や市民の皆様^{きたん}の参加型で作っていただけてきた大事な会議であります。本当に熱心に忌憚のない意見交換をいただいて、先週取りまとめをしていただいたものを受け取りました。これからその最終回までのご意見を調整した後、パブリックコメントをして皆様からの意見募集という段階に入ります。

この未来ビジョンは、これから駅の西口や駅そのものにいかに賑わいを持たせ、楽しい街中を作っていくかという基軸となります。市民の皆様からご意見を寄せていただいて作り上げました未来ビジョンに沿って、次なるまちづくりに取り組んでいくということになると思います。

○市役所食堂について

(記者) いつ再開するのか。

(副市長) 職員互助会長の立場でお答えさせていただきます。大変ご迷惑をおかけしております。当初は3月初めということで準備を進めてきておりましたが、いくつか課題が見つかりまして、もう少し先に延びてしまいそうです。最終的な確認等を進めておりますので、もう少しお時間をいただければと思います。

(総務部長) 以上をもちまして、2月の定例記者会見を終了します。どうもありがとうございました。